



2学期が終了しました ～「除夜の鐘」に想う～

本日、終業式(寒さが厳しいことやインフルエンザの感染防止も考慮して放送で実施)を行い、2学期を終えることができました。これもひとえに、保護者のみなさま、地域のみなさまのご支援、ご協力のおかげと、深謝いたしております。
終業式では、子どもたちに、次のような話をしました。

みなさん、おはようございます。

2学期がスタートした九月二日、うだるような暑さの中、汗びっしょりで登校してきましたね。あの日の気温は三十四・一度。あれから、百十四日間の日々が過ぎて今日、2学期が終わります。今朝の気温は、九度。この四カ月間に、二十度も気温が下がりました。私たちの住む日本は、四季がありますが、本当にそのことを実感させてくれます。これから迎える冬休みには、クリスマスやお正月等、ワクワクしている人もいます。校長先生も夏休みや春休みよりも、冬休みが一番好きだったことを覚えていてます。

そんなイベントだらけの日々の中で、校長先生が、とっても好きな時間があります。いつだと思えますか？

答えは、十二月三十一日、大みそかの夜に鳴る「除夜の鐘」を聞く時なんです。みなさんは、除夜の鐘を聞いたことがありますか？鎌倉時代から九百年もの歴史がある、そんな除夜の鐘について、今日は、少しお話ししたいと思います。

除夜の鐘は、お寺のお堂にある鐘です。午前0時に年が変わる、その前後で、百八回、鐘を突きます。観音寺でも、お寺でこの鐘を突いていて、校長先生の家がある下出にも、その音が聞こえてきます。外に出て、その音を聞くのが、校長先生は大好きなんです。普通に聞いていけば、ただのお寺の鐘の音ですが、その日だけは違って聞こえます。この鐘を聞きながら、今年一年をふり返り、静かな気持ちで聞き、次の年が、どうか幸せな一年でありますように、と願っています。

この鐘は、先ほども言ったように百八回ついています。この百八回には、いろいろな意味があるのですが、その中に「四苦八苦を取り除く」というものがあるそうです。二年生以上の人は九九を思い出してください。四苦(四九)三十六ですね。八苦(八九)七十二ですね。足してみると、そう、百八ですね。鐘を百八回鳴らすことで、四苦八苦を取り去る、という意味もあるそうです。みなさんも、もし大みそかの夜遅くに起きていけば、この鐘の音を聞けるかもしれません。聞ける人は聞いてみてください。

この一年、みなさんにとってどんな年でしたか？世の中では、元日から大きな地震があったり、飛行機の事故があったりしました。でも良いこともたくさんあって、夏には、パリオリンピックで日本の選手が大活躍をしました。みなさんにとっても、良いことや良くないこと、いろいろあったと思いますが、来年はもっと良い年になりますように、良い年にするぞーという願いや決意をしながら、除夜の鐘を聞くのも良いかもしれません。

今年も、校長先生は、大みそかの夜、除夜の鐘を聞きます。もちろん、自分自身の幸せを願うとともに、みなさん全員の幸せも願っています。今年一年間、ありがとうございました。来年もどうか、良い年になりますように、と願っています。

この冬休みがみなさんにとって、幸せと温かさに包まれる日々なることを願って、2学期終業式の式辞とします。